

社会資本総合整備計画

いの町災害に強いまちづくりの推進(第2期)(防災・安全)

(第1回変更)

いの町

令和5年1月

(参考様式2) 社会資本総合整備計画(防災・安全交付金)

計画の名称	いの町災害に強いまちづくりの推進(第2期)(防災・安全)							重点配分対象の該当	○								
計画の期間	令和4年度～令和6年度(3年間)	交付対象	いの町														
計画の目標	本町においては、発生予測が困難で甚大な被害が想定される「南海トラフ巨大地震」や、頻発する大型台風やゲリラ豪雨による内水氾濫・土砂災害など、規模や頻度の異なる災害への対応が求められている。本計画では、災害時に緊急的な地区住民等の安全な受け入れができる施設を整備する。																
計画の成果目標(定量的指標)	地震災害に備えて地区住民等が緊急的に避難できる施設の整備を行い、命をつなぐ対策を推進する。また、平時には地域住民等が防災研修や防災訓練を行うことで地域防災力の向上に努める。																
定量的指標の定義及び算定式						定量的指標の現況値及び目標値			備考								
						当初現況値 (R4当初)	中間目標値 (R末)	最終目標値 (R6末)									
	安全性を確保した指定緊急避難場所の整備により、避難困難者の解消を図る。 避難困難者の解消率＝避難困難者の解消人数÷避難困難者(避難困難者数 三瀬地区31人、清水地区:135人、下本川地区:58人)					0		100%									
全体事業費	合計 (A+B+C+D)	72	A	72	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C/(A+B+C+D)	0.0%					
交付対象事業																	
A 基幹事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画 策定状況	備考
									R4	R5	R6						
A-1	都市防災	一般	いの町	直接	いの町	清水地区外2地区都市防災総合推進事業	地区緊急避難施設 N=3箇所	いの町						72	-	-	いの町国土強靱化地域計画に記載
合計												72					
B 関連社会資本整備事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考		
									R4	R5	R6						
合計																	
番号	一体的に実施することにより期待される効果																
C 効果促進事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考		
									R4	R5	R6						
合計																	
番号	一体的に実施することにより期待される効果												備考				
D 社会資本整備円滑化地籍整備事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考		
									R4	R5							
合計																	
番号	一体的に実施することにより期待される効果												備考				

(参考様式2)社会資本総合整備計画(防災・安全交付金)

計画の名称	いの町災害に強いまちづくりの推進(第2期)(防災・安全)							重点配分対象の該当	○			
計画の期間	令和4年度～令和6年度(3年間)	交付対象	いの町									
計画の目標	本町においては、発生予測が困難で甚大な被害が想定される「南海トラフ巨大地震」や、頻発する大型台風やゲリラ豪雨による内水氾濫・土砂災害など、規模や頻度の異なる災害への対応が求められている。本計画では、災害時に緊急的な地区住民等の安全な受け入れができる施設を整備する。											
計画の成果目標(定量的指標)	地震災害に備えて地区住民等が緊急的に避難できる施設の整備を行い、命をつなぐ対策を推進する。また、平時には地域住民等が防災研修や防災訓練を行うことで地域防災力の向上に努める。											
定量的指標の定義及び算定式							定量的指標の現況値及び目標値			備考		
							当初現況値 (R4当初)	中間目標値 (R末)	最終目標値 (R6末)			
	安全性を確保した指定緊急避難場所の整備により、避難困難者の解消を図る。 避難困難者の解消率=避難困難者の解消人数÷避難困難者(避難困難者数 三瀬地区31人、清水地区:135人、下本川地区:58人)						0		100%			
全体事業費	合計 (A+B+C+D)	72	A	72	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C/(A+B+C+D)	0.0%

交付金の執行状況

(単位:百万円)

	R4	R5	R6		
配分額 (a)					
計画別流用 増△減額 (b)					
交付額 (c=a+b)					
前年度からの繰越額 (d)					
支払済額 (e)					
翌年度繰越額 (f)					
うち未契約繰越額 (g)					
不用額 (h = c+d-e-f)					
未契約繰越+不用率 (h = (g+h)/(c+d))					
未契約繰越+不用率が10%を超えている 場合その理由					

※ 令和3年度以降の各年度の決算額を記載。

(参考様式3) 参考図面(防災・安全交付金)

計画の名称	いの町災害に強いまちづくりの推進(第2期)(防災・安全)		
計画の期間	令和4年度~令和6年度(3年間)	交付対象	いの町

